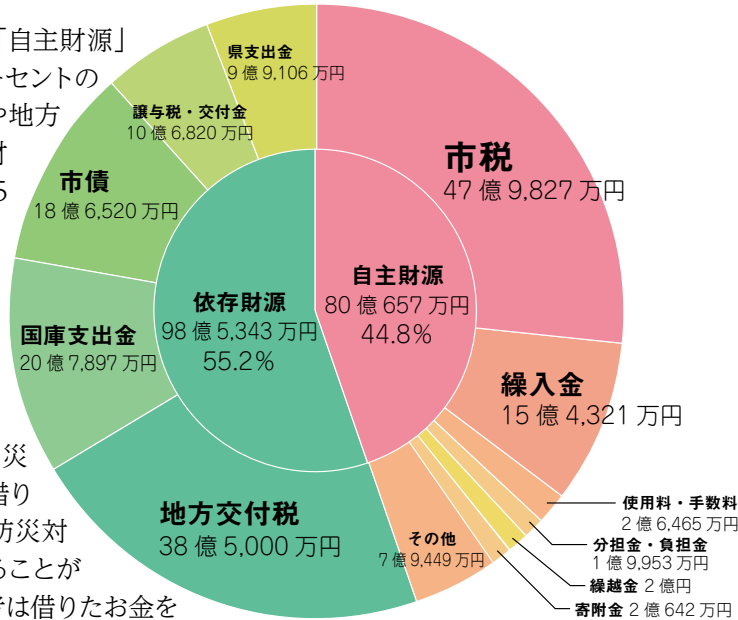


# 一般会計 178 億 6,000 万円

## 歳入

市税、使用料等の「自主財源」は前年度比 7.7 パーセントの増、国・県支出金や地方交付税等の「依存財源」は前年度比 4.5 パーセントの増となっています。

【有利な起債】起債の方法は様々で小諸市では、消防庁舎の整備事業に「緊急防災・減災事業」債でお金を借りています。通常、「防災対策事業」債で借りることが多いなか、この両者は借りたお金を返す際、自治体に地方交付税として戻ってくる割合が前者の方が約 2 倍多くなります。このように起債する際は、有利な起債について検討しています。



一般会計以外の会計はこちら

## 主な特別会計

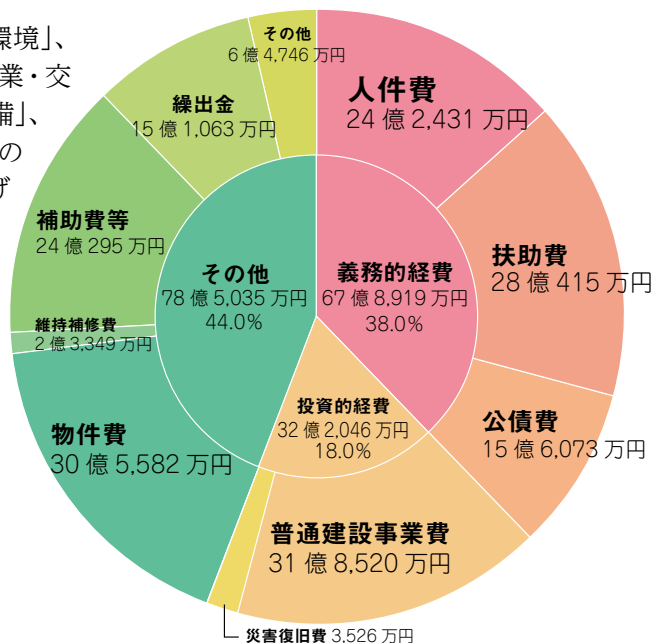
国民健康保険事業	44 億 4,200 万円
後期高齢者医療	4 億 8,600 万円
介護保険事業	38 億 6,400 万円
奨学資金	895 万円
住宅新築資金等貸付事業	6,100 万円
小諸公園事業	1 億 3,200 万円
野生鳥獣商品化施設運営事業	1,920 万円

## 企業会計

●水道事業会計	収益・収入 9 億 7,058 万円	収益・支出 8 億 7,335 万円	資本・収入 4 億 6,229 万円	資本・支出 7 億 1,714 万円
●公共下水道事業会計	収益・収入 11 億 9,925 万円	収益・支出 11 億 6,666 万円	資本・収入 6 億 3,743 万円	資本・支出 10 億 6,481 万円
●農業集落排水事業会計	収益・収入 3 億 3,967 万円	収益・支出 3 億 3,958 万円	資本・収入 4,169 万円	資本・支出 1 億 694 万円

## 歳出

「子育て・教育」、「環境」、「健康・福祉」、「産業・交流」、「生活基盤整備」、「協働・行政経営」の市の総合計画に掲げられた 6 つの柱を中心に、事業内容を精査し、限られた財源を効率的に活用する予算編成としました。



### 用語解説

【地方交付税】地方公共団体が等しく事務を行うことができるよう、一定の基準で国が交付するもの／【市債】資金調達のための借入金／【繰入金】特別会計や基金から一般会計に繰り入れるもの／【扶助費】高齢者、児童、生活困窮者等への支援に要する経費／【公債費】市が借り入れた借金（市債）の元金、利子の償還金／【普通建設事業費】道路や橋、公共施設の建設に要する経費／【繰出金】一般会計から特別会計への繰出金

※企業会計では、資本的収入が支出に対して不足する場合には、減価償却費などの企業内部で留保されている資金などの補てん財源で補てんするものとされています。